

令和5年度第1回南丹市男女共同参画社会推進委員会会議録

日 時 令和5年6月30日（金） 10：30～12：00

場 所 園部文化会館「アスエルそのべ」中研修室

出席者 芦田美子委員、大嶋久美子委員、大坪洋子委員、木村節子委員、
岸田義章委員、栗原明日香委員、中村裕予委員、仲村 哲委員、
野中大樹委員、八木あけみ委員、矢野茂世委員

事務局 前原正明市民部長、浅田妙子人権政策課長、大塚道昭課長補佐、
大狩朋範主任、ジャパン総合研究所職員

欠席者 城戸貴子委員、戸本節子委員

傍聴者 0人

1. 開会
2. 委嘱状交付 代表受領 木村節子委員
3. 市長あいさつ

皆様方には、特に社会、政治、経済の分野などで、どうしたら女性が活躍できる社会的な条件づくりができるのか、あるいは働きかけをどのようにしたらいいのかもぜひご議論いただきながら、今後の具体的な推進の実施プランをご検討いただきたいと思います。

このメンバーは、南丹市内で第一線で活躍いただいている皆様方ばかりです。市内で頑張っていたいただいている皆様方が、市内の状況に合わせて問題意識を持ちながら提起、提案をしていただくことが一番大事だろうと考えております。こんなのは無理だろうと思わずに、思い切ったご提言を頂けたらありがたいので、よろしくお願い申し上げます。

4. 委員紹介
5. 委員長・副委員長の選出について

委員長に大坪洋子委員、副委員長に野中大樹委員を選出。

大坪委員長あいさつ

6. 議事

○男女共同参画について

■令和3年度男女共同参画行動計画ヒアリングシートについて

(事務局説明)

○委員

「自己肯定感・自己有用感」とありますが、ヒアリングなので専門用語でなく、分かりやすい表現がよいと思います。

○委員長

共同参画推進社会をつくっていくには、自治体がどういう方針を出すかが基本のためヒアリングシートがありますが、「実施状況・課題、今後の方針」に実施状況が書かれていない文章が散見されてがっかりしました。同じ文章が、全然違う取組の所に書かれていたりしました。「こんな取組をしたがコロナでできなかった」という状況が知りたいのに、そういうことでは男女共同参画は進まないのではないかと、全体を通して思いました。

○事務局

職員が使う難しい言葉ではなく、皆様に分かるような言葉で説明すべきところだと反省しております。

この言葉に限らず分かりにくい表現の場合は、令和4年度の行動計画について、ヒアリングシートを作成する機会がありますので、皆様に分かりやすい言葉を使ってもらうことも、加えて各課に照会をしていきたいと考えております。

○委員

行動計画に、社会に対する啓発や理解の大切さが記載されていましたが、それを読みながらヒアリングシートを読ませていただくと、例えば13ページ、人権政策課の2つ目の段にある「地域の人権研修の教材としてDVDなどを紹介している」は、紹介していることに対する達成度は「A」評価をされていますが、地域への人権教材を紹介しながら、地域でどれだけの研修がなされているかについて、どのような状態でどういうふうに評価していったらいいのかが見えないと思います。組織内だけでの評価なのか、市民に下ろした時の市民への評価なのかも含めて、評価の観点を挙げていただきたいです。

○委員

先日、子育てフォーラムで、他のPTA会長さんと話した時、「うちの学校は、PTA会長は男がしなければいけない」という発言をされました。子どもを育てていかなければいけない立場の人間が、男女共同参画と違う方向に走っていることは矛盾していると思います。変わるか変わらないかは別として、アクションを起こしたら何か変わってくるかもしれないので、学校に連絡をしていただけたらうれしいと感じました。

○事務局

行動計画を学校にも配らせていただき、先生方、PTA役員、PTA会員に広げていただくことを伝えていきたいと思います。

○委員

若い方は男女の差があまりないように思うが、私が小さいころ、祖母などは男尊女卑の時代に生きてきた人なので、今のお子さんとは全然価値観が違おうと思いますが、小さいころからの男女平等の教育が大きいと思いますので、そういうところの勉強をみんなで行い、先生自身も勉強しなければいけないこともあると思います。何をどう子どもに伝えていったらよいのかという具体的なことが分かれば、教科以外のどこの時間に男女平等の勉強をしてほしいという提案を具体的にしていけるとと思います。

○委員

週末の「クレヨンしんちゃん」、「ドラえもん」、「ちびまる子ちゃん」、「サザエさん」などのアニメでは、お母さんがみんな専業主婦ですが、実際はそういう家ばかりではありません。アニメの子どもへの影響は大きいと思います。

○委員

幼稚園の役員はほとんど女性です。幼児の時期は女性との関わりが多いのですが、小学校になると急に男性社会になると感じます。

○委員

学年委員のような、クラスから出す委員はほとんど女性ですが、本部に行くと男性率が上がります。

○委員

小学校のPTA会長をしていますが、本部は女性が多いです。女性の方から「私が副会長になるので、あなたが会長になって」と言われて受けてしまいましたが、女性の力でばりばりやってもらっており助かっています。

■市民意識調査結果報告について

(事務局から説明)

○事務局

アンケート結果でDVの件数が増えているのは、コロナ禍の影響により家庭内でのストレス等が原因ではないかと分析しています。今後、計画や事業をするにあたって、調査の結果を活かしていきたいと思います。

○委員長

これがDVになるのだという意識が、男性にも女性にもついてきました。いろいろな社会問題によってDVが浸透してきており、相談してもいいんだ、誰かに言ってもいいんだ、1人で悩まなくてもいいんだという兆候が出てきたと思います。

民生委員でDVに関わり、3年かかって対策した時は、こんなことが私の地元であるのだと思いましたが、今になると結構あるということが分かりました。命に関わるころまではいかないけれど、これはDVを受けているのだと本人が分かるようになったということが大きいと思います。

○事務局

問3の「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感できない」という意見がかなり高くなっていますので、意識が浸透していると感じています。

■各団体における男女共同参画に関する現状と課題について

(資料「男女共同参画への現状と課題」を事務局より説明)

別紙様式により、自分の現在の立場や地域での関りなど、感じられていることを記入し期限内に人権政策課まで報告をお願いします。

■中間見直しに向けてのスケジュール(案)について

今年度は、あと4回実施を予定しています。内容は、次第に記載のとおりです。

7・その他

(キラリなんたんの開催、パートナーシップ制度について事務局説明)

8. 閉会

○野中副委員長あいさつ